



## ごあいさつ

本校のホームページをご覧ください、ありがとうございます。

令和8年度のスタートにあたり、新しく入学された皆さん、進級した在校生の皆さんを心より歓迎いたします。また、日頃より本校の教育活動に温かいご理解とご支援をいただいている保護者の皆様、地域の皆様に深く感謝申し上げます。

本校は、「長特ミッション」を基盤に教育活動を進めており、今年度でその取組は3年目を迎えます。この2年間で教職員の意見を基に、意思疎通の改善や学部・教科を越えた連携が進み、授業改善や教材研究の充実など専門性向上の基盤が強化されました。また、関係機関との協働、ICT活用による情報発信や業務のデジタル化、見える化と分担の適正化を図ることで子供たちの学びと自立を支えるための実践が着実に深まりました。

今年度、本校は長崎県特別支援教育訪問教育研究会（長訪研）事務局としての役割を担い、県内特別支援学校訪問教育の発展に寄与するとともに、特別支援教育の充実に向けた取組を進めてまいります。また、NSCO（長崎・西彼地区コーディネーター連絡協議会）の主管として地域の学校や関係機関との連携をさらに強化し、地域の小・中・高等学校における特別支援教育の充実にもつながる支援体制づくりを進めていきます。さらに、木谷杯長崎県特別支援学校ボッチャ大会の事務局として、第10回大会の成功に向けて教職員一丸となって取り組んでいく所存です。これまで肢体不自由4校間での開催でしたが、今年度は記念大会ということで他校にも呼び掛け、障がいスポーツの輪を広げていく予定です。県下特別支援学校の卒業生であるリオデジャネイロパラリンピックのメダリストを招聘することで、世界で活躍した選手から直接学ぶ機会は、子供たちにとって大きな刺激となり、挑戦する意欲や仲間と協力する喜びを育む貴重な体験となることでしょう。こうした取組を通して、学校全体に新たな活力が生まれることを期待しています。

あわせて、本校では学校の魅力化にも継続して取り組んでいきます。ICTを活用した学習の充実、医療的ケアを含む安心できる支援体制、地域とつながる学習活動など、本校ならではの特色をさらに磨き、子供たちの成長を社会へ積極的に発信してまいります。

また、教育の質を高めるためには、教職員が健やかに働ける環境づくりが欠かせません。今年度も、業務の見直しや校務分掌の改善、ICTによる効率化など、働き方改革を着実に進め、子供たちに向き合う時間とエネルギーをより確保できる学校づくりを進めてまいります。保護者の皆様、地域の皆様には、引き続き温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。皆様とともに、子供たちの成長を喜び合える一年にしていきたいと考えております。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

令和8年4月  
長崎県立長崎特別支援学校  
校長 西山 幸代